

# 大津企業景況調査報告書

(第64回)

平成26年 1月～ 3月期 実績

平成26年 4月～ 6月期 見通し

大津商工会議所

# 大津企業景況調査について

(平成26年1月～3月期)

## 1. 調査方法

大津商工会議所会員企業 100 社に F A X 方式による調査

## 2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
建 設 業	20社	10社	50.0%
製 造 業	10社	4社	40.0%
卸 売 業	10社	6社	60.0%
小 売 業	30社	14社	46.7%
サービス業	30社	18社	60.0%
合 計	100社	52社	52.0%

## 3. 調査期間

調査対象期間は平成26年1月～3月とし、調査時点は平成26年3月3日とした。

## 4. 調査データについて

調査の結果を示す指数として DI 指数を採用した。DI 指数とは Diffusion Index (景気動向指数)の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」の DI 指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」の DI 指数は、3ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」の DI 指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

## 景況感は大幅改善するも先行きに警戒感

平成 26 年 1 月～3 月期の大津企業景況調査の結果がまとまった。調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

### 全体

景況は、全体の業況判断DI（前年同期比）が+10 と前四半期から 10 ポイント上昇した。消費増税前の駆け込み需要が全般にDIを押し上げた。売上が増加し、採算も改善して、人員不足が建設業をはじめ全般に続いている。業種別では、建設業が公共投資の拡大等で繁忙で、卸売業、サービス業、製造業は消費増税前の需要増から改善したが、小売業は悪化した。

先行きは、業況判断DIが▲21 と 31 ポイント悪化すると予想している。非製造業を中心に消費増税後の反動減への警戒感が強い。設備投資は前四半期と変わらず、雇用面では人員不足が続くとみている。

#### □ 業況判断DI（前年同期比）は、大幅に改善。

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、+10 と前四半期から 10 ポイント上昇した。消費増税前の駆け込み需要が全般にDIを押し上げた。業種別では、建設業が公共投資の拡大で繁忙で、卸売業、サービス業、製造業は消費増税前の需要増加から改善したが、小売業は悪化した。

#### □ 売上DI（前年同期比）は増加。建設業が大幅増加し、製造業、小売業は減少。

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」(「増加」－「減少」)は、前四半期の▲2 から今四半期+6 で増加した。業種別にみると、建設業が大幅に増加したが、これは公共投資の拡大等によるものとみられる。消費増税前の需要の増加から卸売業も増加したが、製造業、小売業、サービス業は減少した。

#### □ 採算DI（前年同期比）は5期連続改善。建設業が大きく改善、小売業は悪化。

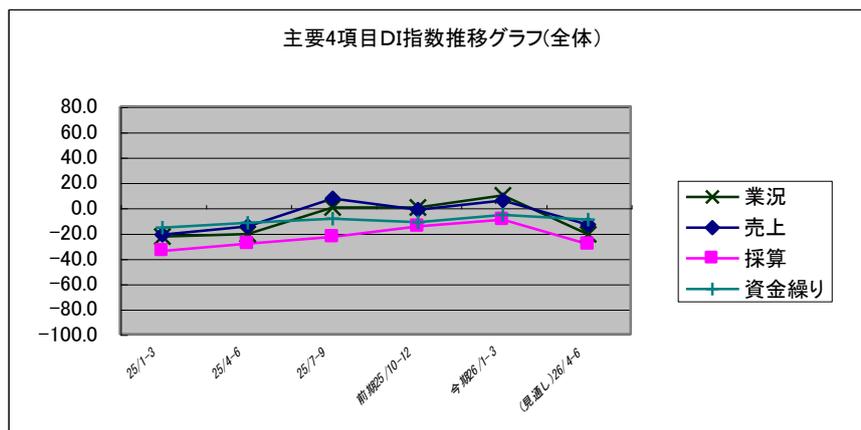
「前年同期比でみた採算(経常利益) DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期▲15 から今四半期▲10 と5期連続改善した。業種別にみると、建設業が大きく改善し採算水準も高水準になったが、小売業は悪化した。

#### □ 資金繰りDI（3ヵ月前比）は改善。サービス業が改善。

「3ヵ月前比でみた資金繰り DI(全体)」(「好転」－「悪化」)は、前四半期の▲12 から今四半期▲6 に改善した。業種別にみると、サービス業が改善し、小売業は悪化した。

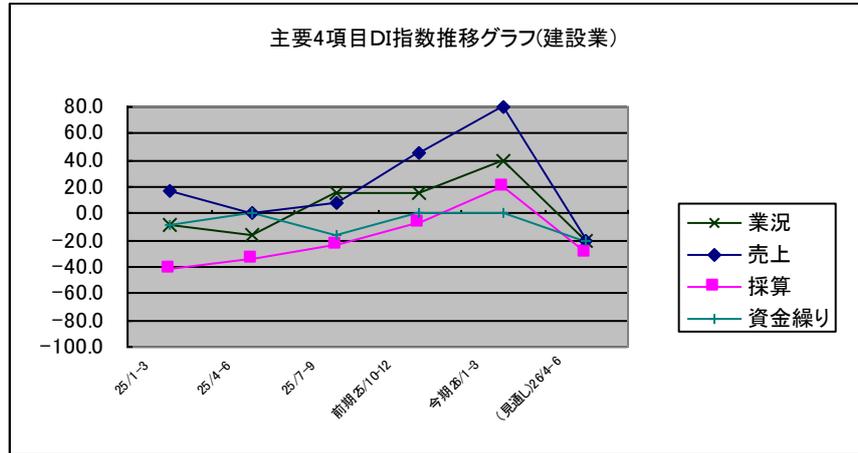
#### □ 従業員DI（前年同期比）は人員不足さらに強まる。特に建設業で顕著に。

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」(「不足」－「過剰」)は、前四半期の+13 が今期+19 と人員不足がさらに強まっている。業種別にみると、特に建設業で顕著で、人員不足のため受注に制約が出ている。卸売業、サービス業でも人員不足が続いている。



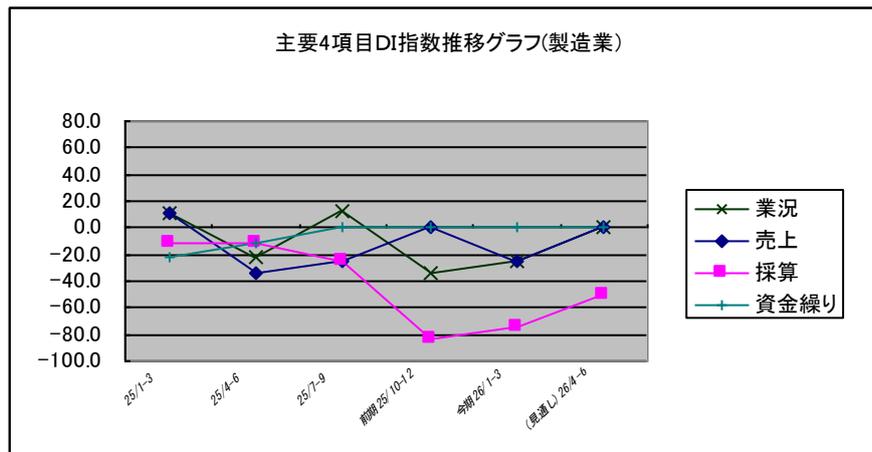
## 建設業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期+15 から今四半期も+40 と好調である。公共投資の拡大等によるものとみられる。個別指標をみると「売上」が前四半期の+46 から今四半期+80 とさらに大幅に増加し、かつ「採算」も改善して「採算水準」は+60 とさらに高水準になった。「取引の問い合わせ」も堅調が続いているが「人員」は前四半期の+31 から今四半期+50 とさらに大幅に不足しており、受注に制約が出ている。



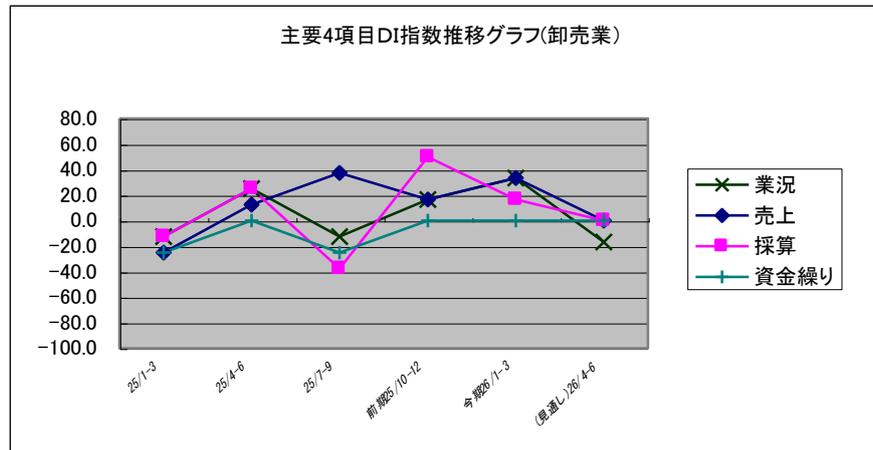
## 製造業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期▲33 から今四半期は▲25 と改善した。個別指標をみると「売上」は前四半期の±0 から今四半期▲25 と悪化したものの、「取引の問い合わせ」が前四半期の▲17 から今四半期+25 と大幅に増えた。「人員」は前四半期も今四半期も±0(過不足なし)である。



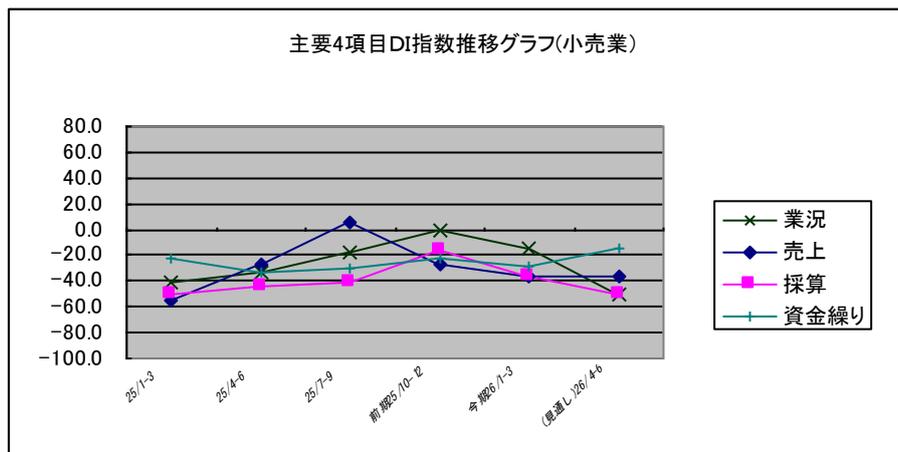
## 卸売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の+17 から今四半期は+33 とさらに改善し好調である。個別指標をみると「売上」は前四半期の+17 から今四半期は+33 とさらに増加した。「採算」も良化が続き、「採算水準」は黒字が続いている。消費増税前の駆け込み受注が引き続いているものとみられる。



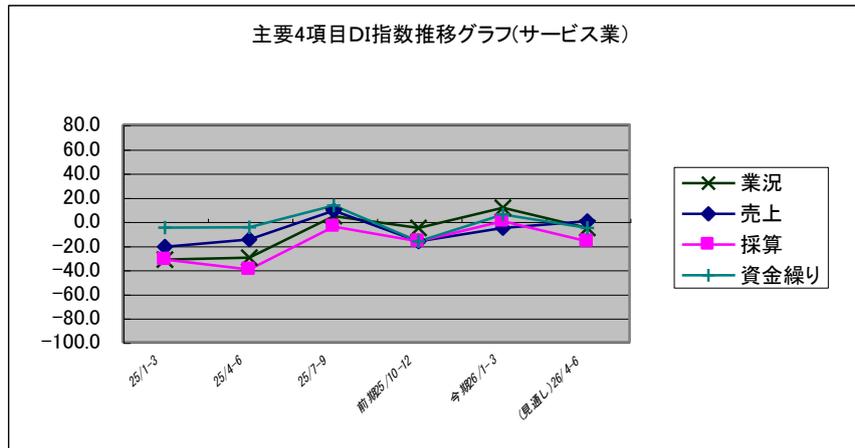
## 小売業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の±0 から今四半期は▲14 と悪化し再びマイナスに転じた。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲28 から今四半期▲36 と減少が続き、「採算」も前四半期の▲17 から今四半期▲36 と悪化した。消費増税前の駆け込み需要を十分取り込めない中で、原材料費や一般経費の上昇が採算を圧迫したこと等によるものとみられる。



## サービス業

DI 指数をみると、「業況」は前四半期の▲6 から今四半期は+11 と改善しプラスに転じた。個別指標をみると「売上」は前四半期の▲17 から今四半期▲6 と改善し、「採算」も前四半期の▲17 から今四半期±0 と改善し「採算水準」は前四半期の▲11 から今四半期+11 と黒字になった。「資金繰り」も改善した。「従業員」は人員不足がさらに強まっている。業種によっては専門職の確保が困難なため受注増加に制約が出ているところもある。



来四半期（3 ヶ月後）の「業況」DIは、消費増税後の反動減や、原材料費や経費の高騰懸念等から、31 ポイント下落の▲21 と大幅に悪化する見通しである。個別指標をみると「売上」、「採算」、「採算水準」、「取引の問い合わせ」とも大幅に悪化する見通しとなっている。

業種別にみると、製造業のみ改善を見込んでいるが、建設業、卸売業、小売業、サービス業とも大幅悪化を見込んでいる。全般に消費増税後の需要の反動減が大きいこと、仕入れ価格が高止まりする懸念から採算悪化するなどの警戒感を示しているものとみられる。

3 ヶ月後の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は全体で前四半期と同じく 21%であった。業種別にみると、卸売業が最も高く 33%、サービス業が 28%、製造業が 25%、建設業が 20%であった。投資企業の投資内容の割合は、「更新投資」が 82% で大半を占めた。投資方針は、「計画通り行う」とする企業が 64%あるのは更新投資が多いからであろう。また設備投資計画の水準は低く、生産力増加投資はさらに少ない。消費増税後の景気が先行き不透明な中で、企業経営者の慎重な姿勢が窺われる。

(MBA・中小企業診断士 田中清行)

## (今の経済情勢に対する意見)

今の経済情勢に対する意見を寄せた企業は5社であった。

- ・ 原材料費、その他一般経費全般の上昇が、販売価格に転嫁する以前に始まっているので、遅れたと感じています（小売業）
- ・ 4月より消費税の増額により、お客様の負担分が多くなり、実質の単価ダウンが進むので心配です。（サービス業）
- ・ 売上増加に伴い専門的職業人（有資格者）の確保が困難であり、客との信頼関係から、また、工期、納期の点からも、やみくもに受注できなくなっている。今後、景気の持続が好転すれば、どの業種にも共通の悩みとなるのではないかと。（サービス業）
- ・ ①消費税値上げの前の駆け込み需要で1.5~2倍の受注。②消費税値上げ後の反動で、大巾な受注減による売上減少が見込。（サービス業）
- ・ 消費税導入による賃料の見直しが賃借人の心理に影響し、新規契約が困難になってきている。（サービス業）

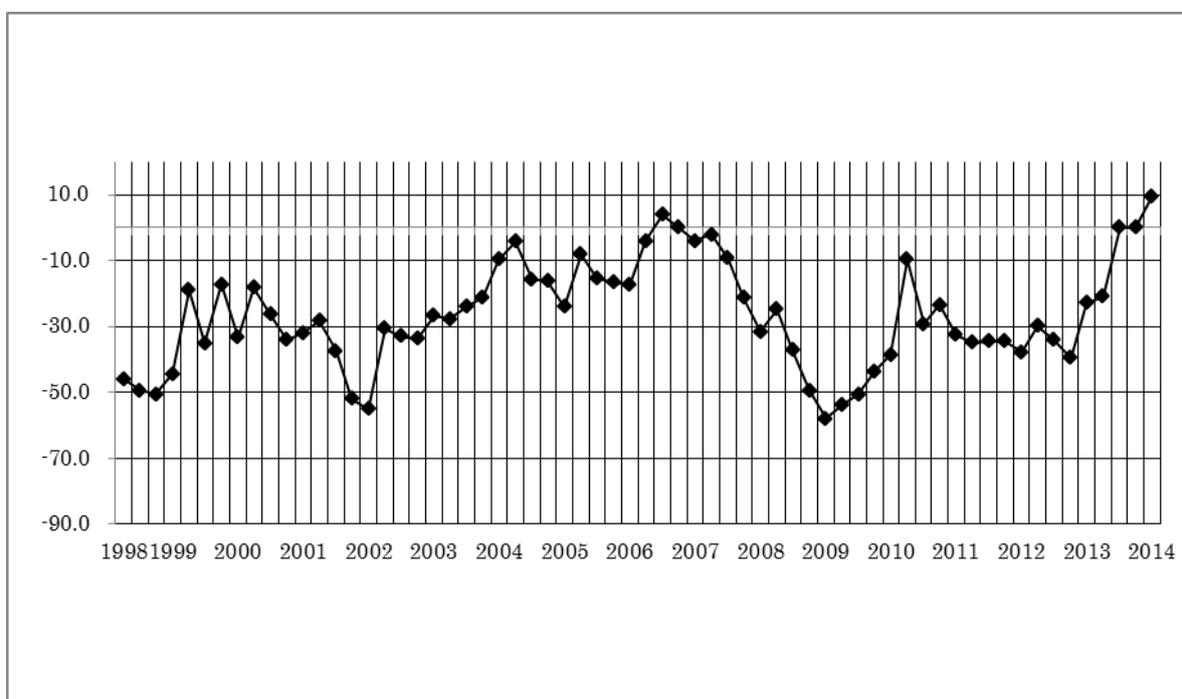
## DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算 (経常利益)	
	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し
全 体	9.6	▲21.2	5.8	▲13.5	▲9.6	▲28.8
建 設 業	40.0	▲20.0	80.0	▲20.0	20.0	▲30.0
製 造 業	▲25.0	0.0	▲25.0	0.0	▲75.0	▲50.0
卸 売 業	33.3	▲16.7	33.3	0.0	16.7	0.0
小 売 業	▲14.3	▲50.0	▲35.7	▲35.7	▲35.7	▲50.0
サービス業	11.1	▲5.6	▲5.6	0.0	0.0	▲16.7
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	採算 (経常利益) の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し	1-3 月期 動 向	4-6 月期 見 通 し
全 体	13.5	▲9.6	▲5.8	▲36.5	19.2	13.5
建 設 業	60.0	10.0	20.0	▲40.0	50.0	10.0
製 造 業	0.0	25.0	25.0	▲25.0	0.0	0.0
卸 売 業	16.7	0.0	0.0	▲16.7	16.7	16.7
小 売 業	▲14.3	▲35.7	▲21.4	▲42.9	0.0	0.0
サービス業	11.1	▲11.1	▲16.7	▲38.9	22.2	27.8
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	1-3月期 動向	4-6月期 見通し	1-3月期 動向	4-6月期 見通し	1-3月期 動向	4-6月期 見通し
全体	▲5.8	▲9.6	0.0	5.8	0.0	3.8
建設業	0.0	▲20.0	0.0	0.0	▲10.0	▲10.0
製造業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売業	0.0	0.0	▲16.7	0.0	0.0	0.0
小売業	▲28.6	▲14.3	7.1	0.0	7.1	0.0
サービス業	5.6	▲5.6	0.0	16.7	0.0	16.7
	3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較		3ヶ月前との比較	

本調査開始（1998年 第二四半期）以降 業況DI指数推移グラフ（全体）



※縦目盛り軸は、全業種の業況DI指数を表しています。横目盛り軸は、調査年を西暦で表しています。

## 大津商工会議所

〒520-0806

滋賀県大津市打出浜 2 番 1 号

コラボしが 21 9 階

TEL : 0 7 7 - 5 1 1 - 1 5 0 1

FAX : 0 7 7 - 5 2 6 - 0 7 9 5

URL <http://www.otsucchi.or.jp/>